



日頃から当法人の活動にご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。
2023年一年間の活動レポートをお届けいたします。

成年後見事業関連

◆新規後見等受任（2月、4月、8月、12月）

年間4件。当法人としての通算では9~12件目（現存ベースでは8~11件目）の後見等受任がありました。
このうち1件は当法人では初めての補助類型となっています。
また、この補助類型の事案を含めて2件は、当法人の既存の被後見人の方と通所先が同じで、その通所先施設からご推薦をいただいたことにより、当法人の後見等受任に至ったものです。
なお、年間4件の受任は2017年の3件を超えて当法人の年間最多の受任件数でした。

相談事業関連

◆相談は電話受け付け（通年）

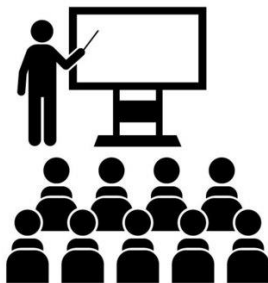
対面での相談会等は開催しませんでした。機会を捉えて成年後見案内を行ない、電話受付にて約10件の各種相談に対応しました。前年からの継続相談案件4件とあわせた14件のうち、4件が上記の新規後見等受任につながっています。
なお、この1年に受付けたご相談の特徴として、従来型の「後見人候補者となってほしいとのご依頼」や「後見開始申立手続き支援についてのご依頼」に加え、次のような内容が計5件あったことが挙げられます。

- ①行政（具体的には市内各区の障害者支援ご担当の方）からのご相談
- ②成年後見受任のための法人立上げや、既存法人が法人後見受任に注力するに際してのご相談

普及活動関連

◆外部団体研修会での講師（3月）

公益社団法人コスモス成年後見サポートセンターの神奈川県支部（神奈川県行政書士会が母体）では、法人後見の形による後見受任に注力なさっています。今回、横浜市社会福祉協議会を経由して当法人に「自閉症者の後見受任に向けた研修会」の講師のご依頼をいただきました。



このご依頼をうけ、当法人では横浜市自閉症協会とも協議のうえ、同協会の志賀利一理事と当法人の宮崎副代表理事が講師を務めることとなりました。
内容は以下のとおりです。

- ▽テーマ：①自閉症の方の意思決定支援を考える上に
②法人後見の取り組みについて

▽開催形態：オンライン + オンデマンド
県内に限らず全国の会員の皆様が受講されました。

▽発信場所：神奈川県行政書士会本部（中区）

◆横浜市自閉症協会主催勉強会（10月）

当法人と連携して活動している横浜市自閉症協会主催の成年後見制度の勉強会（サブタイトル：成年後見について考えてみませんか）が、かながわ県民活動サポートセンターにて開催されました。当法人の宮崎副代表理事が講師を務めています。
当初2月の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため10月に延期されたものです。質疑応答では実践的な内容の質問が活発に出され、参加者の皆さんの成年後見制度への関心の高まりが感じられました。

2024年以降も同様の勉強会の開催を検討しています。

◆会員数増強（通年）

会員数は2023年末現在40名。2022年末比3名増（新規入会4名、退会1名）でした。

法人運営関連

◆定例会合のハイブリッド（対面＋オンライン）開催

2023年2月以降の定例会合は、会員総会を含めすべて「対面＋オンライン」のハイブリッド開催としました。ツールとしてマイクロソフト社のMicrosoft Teamsを使用しています。これにより、自宅から離れるのが難しい場合でも出席が可能となり、出席率も向上しています。

成年後見制度／知的障害者をめぐる事例・事件

◆事例／事件ウォッチ（通年）

以下の事例・事件に関して法人内で情報共有し、業務に資するべく意見交換などを行ないました。

▽社会福祉法人「あすなる福祉会」（北海道檜山郡）の不妊処置問題（1月）

当法人が加盟する全国権利擁護支援ネットワークも強い調子で抗議声明を出しています。

▽障害者雇用代行ビジネス（3月）・・・マスコミでは賛否両論が紹介されています。

当法人としては「理想に至るためのワンステップであれば」との条件付きで肯定的に捉えます。

▽福井県の介護施設で週休3日制を試行（9月）・・・要員確保のための施策の一つです。

試行結果が良好なら一気に採用施設が広がる可能性があるため、引き続きウォッチします。

▽社会福祉施設での労災死傷者が10年で倍増（10月）

当法人に関わりのある施設では現時点で同様の事象が見られないため、当面静観します。

▽障害者 vs 特殊詐欺（10月）

以前から軽度知的障害者は詐欺犯罪のターゲットになり易いとされているため、当法人でも今後十分に留意していきます。

自閉症啓発



◆世界自閉症啓発デー（4月）

4月2日は国連が2007年に制定した世界自閉症啓発デー。横浜市においても一般社団法人横浜市自閉症協会（当法人の賛助団体）との共催で『世界自閉症啓発デーin横浜2023』と称して各種イベントが実施されました。支援の輪は年々広がってきており、今年は新たに山下埠頭 GUNDAM FACTORY YOKOHAMA 『動くガンダム』のブルーライトアップなどが加わりました。（写真は神奈川県庁）

その他…事務所周辺でのトピック

◆電動マイクロモビリティ「LUUP」ポート設置

当法人事務所が入居している横浜ワールドポーターズの新港サークルウォーク側（横浜赤レンガ倉庫のある方角）に「LUUP」ポートが設置されました。

「LUUP」とは、街なかのポートに置いてある電動マイクロモビリティのシェアリングサービスのことです。街のどこへでも好きな場所へ簡単に行くことができる移動手段として、若い世代を中心に静かに人気が高まっており、事務所の周辺を歩くと多くの人たちが利用しているところを見掛けます。



NPO法人 成年後見横浜やまびこ

〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港2-2-1 横浜ワールドポーターズ6F NPOスクエア
TEL:045-651-6260 FAX:045-319-4339 EMAIL:HPの問合せを使用